

令和5年第8回定例会

江東区教育委員会会議録

令和5年8月25日（金）

江東区教育委員会

令和5年第8回江東区教育委員会定例会会議録

- 1 開会年月日 令和5年8月25日（金）午前10時00分
- 2 閉会年月日 令和5年8月25日（金）午前11時40分
- 3 開会場所 江東区教育センター
- 4 出席委員 本多健一朗（教育長）、本田和恵（教育長職務代理者）、安部敏啓、鈴木清人、浅野美智子
- 5 出席職員 杉村教育委員会事務局次長、星名庶務課長、西尾学校施設課長、太田整備担当課長、賀来学務課長、飯塚指導室長（教育センター連絡調整担当課長兼務）、木内教育支援課長（教育センター所長兼務）、笠間地域教育課長、榎本江東図書館長、関戸深川図書館長

6 報告事項

- (1) 令和6年度区立幼稚園の園児募集について

7 協議事項

- (1) 令和6年度小学校教科用図書採択について
- (2) 令和6年度江東区立学校特別支援学級教科用図書採択について

8 審議概要

本多教育長 それでは、ただいまより令和5年第8回江東区教育委員会定例会を開会いたします。

本日の会議について傍聴したい旨19名の申出がありました。江東区教育委員会の傍聴規則第9条に基づき、本日の会議については定員75名といたしております。19名全員の方の傍聴を認めますので、事務局は速やかに傍聴人を入室させてください。

（傍聴人入室）

本多教育長 傍聴人の方をお願い申し上げます。教育委員会の規則では、傍聴人は5名と定められておりますけれども、本日に限りまして、定員を75名とさせていただきます。傍聴を希望された方、19名ございますので、全ての方に今日は傍聴をしていただいております。教育委員会では、教科書採択議論を静謐な環境の下で行いたいと思っておりますので、どうぞ皆さんの御協力をお願いしたいと考えております。

また、会議の秩序を乱し、議事の妨害となるような行為があった場合につきましては、江東区教育委員会傍聴規則に基づき、傍聴人に退場を

命じますので、御留意願います。

なお、小学校及び特別支援学級の教科書採択の審議が終了した後に、一度退室の機会を設けますので、教科書採択の案件のみを傍聴を希望の方は、審議終了後、事務局の案内に従って御退室願います。よろしく願いいたします。

それでは、本日の会議録署名委員を御指名いたします。本田委員、安部委員をお願いいたします。

それでは、審議に入ります。議事進行上の関係から、初めに協議事項を審議いたします。

協議事項1 令和6年度小学校教科用図書採択について及び協議事項2 令和6年度江東区立学校特別支援学級教科用図書採択については、教科書採択に関する案件のため、江東区教育委員会会議規則第14条第2項の規定により、一括審議といたします。

なお、審議に入る前の確認事項といたしまして、今回の教科書の採択に関わる公正な選定、採択手続を期するため、本委員会の教科書採択の資料及び会議録については、採択が終了した後に情報公開に付すことといたしたいと思いますが、御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本多教育長 それでは、本案について事務局より説明願います。
指導室長。

飯塚指導室長 それでは、本日の教科書採択の流れについて御説明いたします。

8月17日の第4回臨時会において、令和6年度から、小学校・義務教育学校前期課程で使用する教科書のうち、国語、書写、算数、生活、音楽、図画工作、外国語の7つについて採択していただきました。

本日は、社会、地図、理科、家庭、保健、特別の教科道徳について御審議いただき、採択していただくこととなります。

なお、本日も教科書の見本を机上に御用意いたしましたので、資料と併せて御覧ください。よろしく願いいたします。

私からは以上です。

本多教育長 それでは、まず初めに社会について審議いたします。委員の皆様、社会の教科書の準備をよろしく願います。

それでは、事務局より説明願います。
指導室長。

飯塚指導室長 社会でございます。社会科においては、「社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必

要な公民としての資質・能力の基礎を育成すること」を目指しております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、社会科の「見方・考え方」や学習の進め方について、副読本との関連について、児童の使いやすさについて、教員の指導のしやすさについて、資料の使いやすさについて、以上でございます。

本 多 教 育 長 それでは、社会について御審議いただきたいと思います。御意見ございましたら、よろしく願いいたします。

安部委員。

安 部 委 員 各社とも、学習の進め方を詳しく明記されているのが印象的でした。例えば、日本文教出版の3年生の2・3ページでは、学習の流れがこどものせりふとともに説明されています。左下のスタートのところには、「火事はどれくらいおこっているのだろう。」など、こどもの素朴な問いから学習問題をつかんで、追究して解決していく流れがよく分かるようになっていきます。解決した後も、新たな疑問からさらに考えたい問題があるのがすばらしいと思いました。

以上です。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。
ほか、いかがでしょうか。

浅野委員。

浅 野 委 員 私は、教育出版の3年生の6から7ページの学習の進め方の説明を見していますが、「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」というキーワードが大きく示されているので、こどもにとっては流れを理解しやすいのではないかと思います。矢印も大きく書かれているので、このサイクルが続いていくイメージもつきやすいですね。見やすくとてもいいです。

以上です。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。
進め方、今、2点ありましたけれども、確かに図が見やすいところがあるかなと思います。

ほか、いかがでしょうか。

鈴木委員。

鈴 木 委 員 そういう点では、東京書籍も同じように、3年生の24・25ページに学習の進め方が載っています。こちらも「つかむ」「調べる」「まと

める」「いかす」というキーワードでまとめられているのがいいと思います。

それから、3年生の本区独自の副読本「わたしたちの江東区」も使って学習しますが、副読本でも「つかむ」「調べる」「まとめる」「ひろげる」で構成されていますので、こどもたちにとっては使いやすいのではないかと思います。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。
今、学習の進め方についていくつかありました。
本田委員。

本田委員 確かに、私もそれは非常に使いやすいと感じました。東京書籍の同じページに、「社会科の見方・考え方」がドラえもんのイラストとともに掲載されています。他社さんも分かりやすく説明されてはいるんですけども、ドラえもんのタケコプターは「広がり」、そしてタイムマシンは「時間」、「関係」のところはのび太君やしずかちゃんが手をつないでいるイラストというふうに、同じイラストが繰り返し使われているので、こどもたちはどんな見方をすればいいのかというのが分かりやすいだろうなというふうに感じました。

本多教育長 ありがとうございます。
社会科というのは3年生から始まる教科ですが、学習の上ではこどもたちが学習問題をつくって、主体的に調べるという非常に大切な教科でありますので、特に、委員から出てきたように、学習過程が分かりやすくなっているというのが非常に大事かなというふうに思います。

そういった観点で、学習の進め方、いわゆる学習過程と言いますが、そういったものに工夫があるというのがとても使いやすいのかなというふうに思います。ありがとうございます。

ほかの観点、いかがでしょうか。

浅野委員、どうぞ。

浅野委員 私は、社会の学習では、知識を得るだけではなく、得た知識を基に、自分たちには何ができるだろうかを考えることが重要だと思っています。

そういう視点で教科書を見たのですが、教育出版の5年生、245ページに、「環境を守り続けるために自分たちができることは何か」を考えられるようになっているのはいいと思います。スライドのまとめ方の見本もあるので、こどもたちにとってよいヒントとなりそうです。

以上です。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。
 ほか、いかがでしょうか。
 安部委員。

安 部 委 員 浅野委員に同感なのですが、同じ環境の内容の日本文教出版はどうだろうと見ますと、274ページ、275ページに漫画形式で発表の様子が紹介されています。漫画の中には、発表の後に「確かめ・質問」、「その質問への答え」という深め合いの進め方が表されているので、実際に子どもたちもやってみようと思えるのではないかと感じました。
 以上です。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。学習の進め方の関連についてのところからありましたけれども、具体的に、確かに場面が書いてあるかなと思います。
 ほか、いかがでしょうか。
 本田委員。

本 田 委 員 私も同じ学習の内容で、東京書籍を見えています。5年生の下巻の124・125ページですけれども、「自然を守りながら人が生活していくために大切なこととは何か」という2つの異なる意見から考えていけるような形になっています。物事を広く多角的に考えることであるとか、そこから自分の考えを見だしていくということは、これからの時代に生きる子どもたちにとってはすごく大切なことだと感じています。このページは特に意味のあるものなだと感じました。
 以上です。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。
 先ほど、浅野委員からもありましたけれども、知識を得るだけじゃなくてということ、すごく大事ですよ。今、社会科のところですけども、学習を進めていく部分では、その知識だけではなくというのが非常に重点化されています。
 特に今、お話を伺った部分の考えを深めていくというところ、それを子どもたちがどう教科書を使いながらできるかという部分では、今、本田委員から御指摘があったところというのは、確かに、工夫があって活用しやすいのかなと思います。考える視点が示されているというか、話合いの視点が示されているのが使いやすいと思います。ありがとうございます。
 ほか、いかがでしょうか。
 鈴木委員。

鈴 木 委 員 全体的に見て、各社とも、写真、イラスト、グラフなど、視覚的な資

料を豊富に掲載しているのです、子どもたちにとっては分かりやすいかなと思えました。特に、教育出版6年の歴史学習の写真の一部が、白黒写真ではなくカラーで掲載されていることにちょっと驚きました。

例えば204ページ、東京大空襲の江東区付近の写真がカラーで大きく掲載されています。220ページの写真などは、人の表情から当時の様子が伝わってくるなと感じました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。
今、写真の話がありました。いかがでしょうか。
本田委員。

本田委員 写真資料ということですがけれども、鈴木委員もおっしゃるように、カラーのよさというのは確かにあると思います。私も驚きました。ただ、白黒写真というのは、古い時代だということが子どもたちに明確に分かる、目に見えて分かる部分だなと思うので、これは、私はそのままでもいいのかなとも思っています。

東京書籍の142・143ページでは、戦争直後と1964年の東京オリンピック・パラリンピック、そして現在の新宿というふうに写真が比較できるようになっています。戦後から現在までの変化を考えるにはとてもよい写真資料だなと感じました。その間にどのようなことが起きたのか、変わっていないところはあるのか、そんなふうに子どもたちが積極的に調べたくなれるという中身になっているなというふうに思います。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。写真のポイントが幾つかありました。
ほかはいかがでしょう。
鈴木委員。

鈴木委員 私は江東区と関わりのある写真資料を探していましたが、東京書籍の6年の政治・国際編の19ページ、「平和を祈る式典」の写真が載っています。東京大空襲の犠牲者を慰霊する旧中川の灯籠流しなんですけれども、江東区の子どもたちにとっては、より真剣に平和について考えるきっかけとなる、とてもよい写真資料だと感じました。ですから、私は東京書籍がよいなと思います。

本多教育長 ありがとうございます。
子どもたちにも身近な写真があるというのは、江東区の子どもたちにとって親しみ深く学習ができるという視点になるかなと思います。あり

がとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

浅野委員。

浅野委員 私も、東京書籍のほうで資料の工夫がされていると感じています。東京書籍と教育出版の2社が、6年生の教科書で、縄文時代と弥生時代の想像図を大きく掲載されています。子どもたちはこの想像図を見て、分かったことや疑問点などをたくさん挙げていくと思うのですが、東京書籍のほうで両時代の図を見開きで掲載されているので比べやすいですし、「まなび方コーナー」を示し、読み取るポイントも多く示しています。その点、私も東京書籍がよいと思います。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

今、各委員から資料の写真やイラストを含めて、御意見あったと思いますけれども、子どもたち、先ほど言った学習問題をつくっていく中で最初の導入部分での資料であったりとか、写真を見ながらそこで気づくことを挙げていきながら、これからどんなことを学んでいきたいですかみたいなことを考えるんですね。そういった部分では、こういう資料が充実しているというのは非常に大事なことかなというふうに思います。

ありがとうございます。

その他、御意見いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、ここまでの各委員の意見を整理させていただきますと、まず、学習の進め方に工夫があること。それから、考える視点・話し合う視点などの例示に工夫があること。そして、写真等資料が充実していて工夫がされていることなどの理由により、東京書籍を採択したいと思いますが、御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本多教育長 よろしいでしょうか。

それでは、御異議ございませんので、社会については東京書籍を採択することといたします。

続いて、地図について審議いたしますので、委員の皆様は地図の教科書の準備をお願いいたします。

それでは、事務局より説明願います。

指導室長。

飯塚指導室長 教科書としての地図の活用については、社会科の学習を進める上で大切な教材であることはもちろんですが、他教科や日常生活においても地図帳を活用した指導を行い、地図を自在に活用できるようにすること

が重視されております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、地図帳の活用方法について、児童の興味・関心を高めるための工夫について、教員の指導のしやすさについて、江東区に関わることについて、以上でございます。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。

それでは、地図について御審議いただきたいと思います。御意見ございましたら、よろしく願いいたします。

本田委員。

本 田 委 員 地図帳は3年生から使うことになりますね。両社とも、地図の決まりやあらましが丁寧に説明されているページがあるのですが、3年生で初めて使うこどもたちも楽しみながら学ぶことができそうだなというふうに思います。東京書籍の9ページ、10ページには方位磁針の使い方や地図記号がたくさん紹介されているので、こどもたちにとっても興味深く使えるものになっているなというふうに感じました。

以上です。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。

3年生から6年生まで幅広く使っていくということで、導入の部分の御意見をいただきました。

ほか、いかがでしょうか。

浅野委員。

浅 野 委 員 私は帝国書院の9ページから10ページを見ているのですが、地図の成り立ちが丁寧に紹介されているのがよいと思いました。3年生のこどもたちにとっては、このくらいの文字の大きさや情報量がちょうどよく、見やすいのではないかと思います。地図に親しみやすくなるという点では、私は帝国書院がよいかと思います。

以上です。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

安部委員。

安 部 委 員 帝国書院には、22から30ページに、「広く見渡す地図」があります。これは3年生でも読み取りやすいように内容が精選されていて、すっきりとしていていいなと思います。地図を身近に感じられるといいですか、こどもたちも、ふだんから活用したくなると思ってもらえるんじ

やないかと。詳しく見たい場合は33ページ以降を見るという使い分けもできているのがいいと思いました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

情報量が多いほうがいいという部分と、こどもたちの発達段階において多少少なくとも見やすいものになっている、そういったものというのは、工夫としては大事な視点かもしれないですね。幾つかお話をいただいたところ、3年生の活動にとってどうかという部分では大事な観点かなと思います。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

鈴木委員。

鈴木委員 私は、世界の地図のページを見ましたけど、どちらの地図帳も、国名が英語でも表記されています。巻頭の世界地図のページには外国語のあいさつが紹介されているので、外国語の学習としても活用できるなと思いました。先ほど、指導室長からの説明もあったように、他の教科や日常生活においても活用しやすい地図帳がよいのではないかというふうに思います。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

確かに、地図を他教科でもうまく使っていくというのは大事な視点で、そういった部分では、各社とも確かに工夫があるなと思います。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

本田委員。

本田委員 私は、統計資料や資料地図を見ていますけれども、どちらも非常に充実した資料がたくさん掲載されていていいですね。何というか、見ていてすごくわくわくします。東京書籍の81・82ページには、伝統文化やお祭り、それから食文化なども紹介されていていいですね。家庭科や総合的な学習など、ほかの教科としても活用できる話題があるなというふうに感じるので、こどもたちももっと、意欲的に調べもの、調べ活動とかにも使えるんじゃないかなというふうに思いました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

安部委員。

安 部 委 員 私は、帝国書院の、125・126ページのSDGsのページがいいなと思いました。世界にはどのような課題があつて、その解決に向けた取組も紹介されています。世界の地図のページにも「世界のSDGs」コーナーもありますし、こうした資料があると、グローバルに物事を考える視点を持てるのでいいと思いました。その点で、私は帝国書院はいいなと思っています。

以上です。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。

今、地図のみではなく、資料的な部分での御意見だったかなと思います。たしかに本田委員がおっしゃった、家庭科でも使える部分もありますし、安部委員がおっしゃった部分について、SDGsという意味では、今、総合的な学習の時間でかなりSDGsにも取り組んでいる学校も多い中で、広がりがある、資料の活用範囲が期待できるという部分では、資料の充実というのも大事な視点かと思いますね。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

浅野委員。

浅 野 委 員 私は、江東区がどのように掲載されているかを探してみましたが、東京書籍の45・46ページの「首都東京」というところを見ますと、江東区の臨海部と深川地区が掲載されているのですが、本区全体が掲載されていませんでした。この点では残念に思いました。

以上です。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。

確かに、ちょっと切れている感じがありますね。

ほか、いかがでしょうか。

鈴木委員。

鈴 木 委 員 確かにそうだと思います。江東区の子どもたちにとっては、区内全域が掲載されているほうがよいと思います。帝国書院を見ても、67・68ページに江東区全体が掲載されていますので、子どもたちは自分の住む場所を細かく見ることができるという点では、非常にいいと思います。その点では、私は帝国書院がよいというふうに思います。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。

とても大事な視点ですよ。東京都の子どもたちにとって、この地図で学習していくわけですから、そういった部分では自分たちの学校がな

いとか、住んでいるところがないというのは、学習する部分でも残念なところがあったりしますね。ありがとうございます。

その他、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、これまでの各委員の意見を少し整理させていただきますと、地図を活用しやすいように工夫されていること、それから、統計資料など各種資料が豊富であること、また、江東区全域が詳細に掲載されていることなどの理由により、帝国書院を採択したいと思っておりますけれども、御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本 多 教 育 長 よろしいでしょうか。

御異議ございませんので、社会については帝国書院を採択することといたしたいと思っております。

それでは、続いて、理科について審議いたしますので、委員の皆様は理科の教科書の準備をお願いいたします。

それでは、事務局より説明願います。

指導室長。

飯 塚 指 導 室 長 理科においては、自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育成することを目指しております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、教科書の体裁について、問題解決的な学習の進め方について、実験の学習の分かりやすさについて、児童の使いやすさについて、教員の指導のしやすさについて、以上でございます。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。

それでは、理科について御審議いただきたいと思っております。御意見のある方はよろしく願いいたします。

浅野委員。

浅 野 委 員 各社とも写真や文字が大きく掲載されていて、こどもが見やすいように工夫されています。教科書の大きさで一番大きいのは、東京書籍と大日本図書です。理科はたくさんの写真や資料などが掲載されていますので、こどもたちにとって、大きく見やすい教科書がよいと思っております。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。

採択資料作成委員会の主なポイントの中でもありました、今の体裁の話、大きさという部分で言うと、浅野委員がおっしゃってくださった東

京書籍と大日本図書、ここが一番大きいですね。ありがとうございます。
ほか、いかがでしょうか。

本田委員。

本 田 委 員 私は、各社にある二次元コードの掲載について比較をしてみました。
大日本図書は、右下か左下の決められた場所に二次元コードがあるんですね。それから、「動画 温度計の使い方」などと内容が具体的に書かれているのが分かりやすいと思います。教育出版はページの端に二次元コードがあって、二次元コードのマークの中に小さいアイコンがあって、「プラスのマークは、情報」などと大まかに内容を知ることができるようになっていました。

東京書籍、学校図書、啓林館は、二次元コードの場所は決まっていな
いんですけれども、関連ある場所に掲載されていました。ただ、その中
でも東京書籍は、二次元コードの隣に「やり方」「動画」と書かれてあ
って、内容の種類が分かるようになってるのがいいなというふうに感
じました。

以上です。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。

今回、どの社も1人1台端末を配置されたというのもあり、今まで以
上に二次元コードの配置というのを考えて工夫しているところがあると思
うんですね。こどもたちも実際に動画を見て学ぶ、動画から集められ
る情報ってたくさんあるので、なかなか実際に観察に行けないとか、実
験が難しいものというのは、動画で見ることがとても大事なので、それ
を、どういう視点でここに二次元コードがあるのかというのは、確かに
こどもたちがなぜか分からなくてもアクセスしてしまうという、学習
に必要な情報が分からなかったりすると困るので、そういった部分で
様々な工夫は大事な視点かなと思います。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

安部委員。

安 部 委 員 安全への配慮についてになります。理科では、観察や実験をよく行い
ますので、安全への配慮は何よりも大切な視点だと思います。こどもた
ちは4年生から火を使う実験が始まると聞きました。各社、実験用ガス
コンロについて使い方を詳しく載せていて、1ページの全てを使ってい
るのが4社程度あるようでした。

特に、東京書籍4年生の192ページは、実験を始める前に「換気をして、
実験を行う」と書かれてあり、環境整備にも配慮されているなど感
じました。教員にも環境整備を促すことにつながるようになりますし、
経験の浅い教員には特に必要な視点だなと思いました。

また、「してはいけないこと」の中に「なぜ、それをしてはいけないのか」という理由もきちんと書かれていて、こどもが危険性をしっかり理解した上で実験を行うことができるのではないかと考えました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

今、安全の視点から御意見をいただきましたが、ほか、いかがでしょうか。

鈴木委員。

鈴木委員 私は、6年生の「物を燃やしてみよう」という学習のページ、各社、比べて見えています。東京書籍、大日本図書、学校図書は、問題を見つける前に実験を行い、こども自身が問題を見つけられるように工夫をされています。3社とも、実験を安全に行うための注意点も書かれています。学校図書と東京書籍は、実験の準備物が文字や写真で一目で分かるように工夫されていました。他の学習のところも見比べていたんですけども、東京書籍は、「レッツトライ」として黄色の縁取りをしていますので、初めに必ず実験や観察、考える構図を入れています。問題を見つけて主体的に学んでいく工夫が感じられる教科書だなと思います。

本多教育長 ありがとうございます。

今、安全のことについて御意見をいただきましたけれども、こどもたちの生活環境を見ても、オール電化になっているおうちも結構増えている中で、生活の中でガスの火を目にしないということも子どもたちもいるんです。マッチについて、一応、配慮という形で教科書にも載っていますけれども、生活の中でマッチをなかなか使わないということのようですので、そういった部分では、こどもたちの生活環境、様々な経験というのに配慮した上で、丁寧に安全な配慮とかを載せていくことはとても大事で、こどもたちが怖がらないようにということもそうですし、こうやってやると安全にできるよということ。

また、先ほど安部委員の御指摘があった、なぜそれをしてはいけないのかという視点はすごく大事なことなんですね。ただ単に、これはしません、これはしませんと書いてあっても、やっぱり守ればいだけじゃないですよ。なぜそうなのかというのはとても大事なことです。

実は、ここのところ理科の実験での事故というのが全国的に報道されているところがありまして、小学校でも中学校でも、実はあるんですね、事故の報告。そういった部分では、こどももそうですけれども、先生方も十分薬品の性質だったり、この実験の危なさというのを理解していることがとても大事で、丁寧に安全への配慮が示されているというのは、こどもたちのみならず、若い先生方も多いですから、そういったことも

とても大事な視点かなと思います。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

本田委員。

本田委員 各単元の終わりの部分というのを見ってみました。啓林館と東京書籍は、単元で学んだことが1ページに収まるように、手書きのような形で、まとめた例が示されています。要点を押さえてまとめられているので、子ども自身がまとめるときのお手本になるだろうなということ、復習するときに非常に参考になるなと感じました。

昨年度の全国学力学習状況調査では、本区の子どもたちは、理科において、応用問題よりも基本的な問題に課題があったという報告があったと思います。基本的な問題に対応するためには、このようなポイントを押さえてまとまっているページを活用するというこもつながるかというふうに思います。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

2社とも、今、御指摘ありましたように手書き風な文字でまとめてあるというのは、それぞれの工夫だと思いますが、同じような視点で工夫されているのかと思います。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

安部委員。

安部委員 東京書籍のよさを各委員がおっしゃっていましたが、私も東京書籍がよいなと思いました。

特に6年生の25ページは、「こんなところにも！」というコーナーで、関連のある職業についている方にインタビューをしています。25ページ以外にも同じコーナーがたくさんありまして、学んだことがどう生かされているのか知ると同時に、子どもたちが将来の夢を持つきっかけになるのではないかと思います。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

理科の学習で大事なものは、学んだことを生かしていくとか、つなげていくということなんですね。理科嫌いとか理科離れという言葉が言われていて、理科の勉強が役に立つとは思わないという子たちがいたりということ言われたりしますけれども、多分、各社、そういったこともあって、生かす、つながりという視点があると思うんですけど、今、安部委員もおっしゃった「こんなところにも！」というまとめ方ですね、これは東京書籍が工夫しているところがあると思います。私は幾つか見て

いた中で、ページが確かに色も違うし、見出しも工夫していているのは、自分たちが学んだことが日常生活とか社会とどうつながっていくのかという意味では、確かにいい工夫かなと思います。ありがとうございます。

そのほか、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、これまでの各委員の御意見を整理いたしますと、児童の主体的な学びにつながる工夫がされていること、また、安全への配慮の記載について工夫があること、そして、まとめ方や学んだことを生かす工夫があることなどの理由により、東京書籍を採択したいと思っておりますけれども、御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本多教育長 御異議ございませんので、理科については東京書籍を採択することといたします。

続いて、家庭科について審議をいたしますので、委員の皆様は家庭科の教科書の準備をお願いいたします。

それでは、事務局より説明願います。

指導室長。

飯塚指導室長 家庭科においては、「協力・協働」「健康・快適・安全」「生活文化の継承・創造」「持続可能な社会の構築」など、生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫するための資質・能力を育成することを目指しております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、課題解決的な学習について、安全面の配慮について、児童の使いやすさについて、教員の指導のしやすさについて、以上でございます。

本多教育長 ありがとうございます。

それでは、家庭科について御審議いただきたいと思っております。御意見のある委員がいらっしゃいましたらよろしく願いいたします。

浅野委員。

浅野委員 家庭科は実際の生活に結びついた教科で、自分で生きていく力を身につけるためにとても大切な教科だと思っています。だから、いろいろな活動を通して、生活に生かせる力をつけられる教科書がいいと思います。

本多教育長 ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

本田委員。

本 田 委 員 浅野委員に非常に同感です。生活に生かせる力を身につけられる教科書がというのがいいと思います。

そこで、まず巻頭部分を見てみたのですが、両社とも、子どもたちが学習の見通しを持てるように非常に工夫されているなと思います。東京書籍のほうは山道を登っていくようなイラストで、これまでの学習とのつながりであるとか、これからの学習に見通しが持てるようになっています。ただ、下の部分に目次が掲載されているので、このページの情報量としてはちょっと多いのかなとも感じました。

一方の開隆堂出版も、これまでの学習や日常生活の場面をイラストで示されていて、これまでの学習とのつながりが分かりやすくなっています。どちらかという、こちらのほうが見やすいかなと感じます。全体的に、構成であるとか写真の配置なども見やすくていいなというふうに思っております。

以上です。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。

両社ともに、導入の部分というところで5・6年生の2か年で学ぶ家庭科ですけれども、それだけじゃなくて、完了したところとか、低学年で学んだこととか、そして中学校へのつながりですとか、かなりこういった部分では、自分たちの家庭科での学びというのがどういう位置づけにあるかが分かるような形にされているかなと思います。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

鈴木委員。

鈴 木 委 員 東京書籍は、目次の裏のページで、「家庭科の窓」として、「協力」「健康・快適・安全」「生活文化」「持続可能な社会」の4つの視点で書かれています。開隆堂出版は、目次の左側のページに、同じ4つの視点について四葉のクローバーのイラストを使って示しています。両社とも分かりやすいイラストで考える視点を示しているので、子どもたちにとっては分かりやすいのではないかなというふうに思いました。

以上です。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

安部委員。

安 部 委 員 どちらの教科書も、まず課題を見つけ、次に実際にやってみて、最後に、学びを深めるという3段階の学習となっているようです。私は、裁

縫の学習ページを見えています。どちらの教科書も段階ごとに学習のめあてが示されているのですが、開隆堂出版は、段階ごとの学習のめあてを、初めのページにまとめて示しています。先ほどの鈴木委員の発言にあった、考える視点も一緒に示されていて、これからどのような学習を行うのか、学習の見通しが持ちやすく、分かりやすいなと感じています。

以上です。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。

今、各委員からの学習の見通しという部分で御指摘があったと思うんですけども、主体的に子どもたちが学んでいくという見通しを持つというのは非常に大事な視点で、これまでほかの教科書でそういった部分は何らか明示されていたと思うんですけども、家庭科の時間はそんなにたくさんあるわけじゃないので、そういった部分では自分たちが学んでいくことがどうつながっていくかもそうですし、自分が何を学んでいくのかという見通しを持って学べるというのはとても大事なところかなと思います。

ほかの視点でも結構ですが、御意見いただければと思います。いかがでしょうか。

本田委員。

本 田 委 員 こどもたちの学びやすさという視点で申し上げますと、私も裁縫の学習のページを見てみたんですが、両社とも、玉結びであるとか玉止めの方法が写真で示されています。見比べてみると、やっぱり私は開隆堂出版のほうが見やすいと感じます。開隆堂出版は、写真の隣に具体的に玉結びと玉止めが大きなイラストになっていて、これが分かりやすさを増していると感じます。それから、写真も背景を少し暗くなっているのので、明暗がはっきりして見やすいなと感じました。

以上です。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。

裁縫のページのところで具体的な御指摘でしたけれども、私も幼稚園のエプロンを作ってみまして、やってみたんです。実は、こういっただけは大事ですね。どうやってやるんだというのは、私も教科書で見るともう少しできたかなと思いますけれども、子どもたちが実際に学んでいくときに、初めてやると思うので、具体的に、玉結びであったりとか、もっと前の針に糸を通すとか、そういった部分についても、具体的に両社とも写真を工夫したりとかしているところがありますけれども、そこが分かりやすいというのはとても大事な視点かなと思います。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

浅野委員。

浅野委員 私は調理の学習のページを見ていました。どちらの教科書にも、御飯を炊いたり、おみそ汁を作ったりする学習がありました。御飯やおみそ汁は和食の基本でもあるので、こういった学習が載っているというのは、とてもいいですね。

また、どちらの教科書にも、配膳の仕方やおはしの持ち方、各地の郷土料理などが紹介されています。日本の食文化を学ぶ意味では、どちらの教科書もいいと思います。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

今、調理という部分での話、郷土文化の話もございました。

ほか、いかがでしょうか。

鈴木委員。

鈴木委員 私も、日本の食文化を学ぶというのは非常に大切だと思っています。そこで、みそ汁を作る活動を見比べてみたんですけど、こどもの学びやすさという点では、開隆堂出版は、調理の過程が横一列に並んでいて、同じように調理のポイントや使用する用具が示されています。左から右へと見ていけばよいので、すっきりまとまっていて、わかりやすい紙面構成だと思いました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

見やすさという部分では、御指摘いただいたとおりかなと思いますね。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

安部委員。

安部委員 資料2の採択資料作成委員会の結果報告書に、「家族・家庭生活についての課題と実践」についての記載があります。日常生活の中から課題を見つけ、その課題を解決するために自分なりに計画を立て、実際にやってみるという学習活動のようです。学んだことを生活に生かすという意味では、とても意味のある学習ではないかと思っています。

東京書籍は、「生活を変えるチャンス」として、3か所に分けて実践例が書かれています。一方、開隆堂出版は、実践例が1か所にまとまっています。こどもが自分で日常生活の課題を考えるとすれば、例が1か所にまとまっていたほうが参考にしやすいかなと思っています。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。
生活を変えるチャンス、様々な実践、そういった部分でも感じました。
ありがとうございます。
ほかの視点でいかがでしょうか。
本田委員。

本田委員 家庭科というのは、消費者教育であるとか防災教育、それから環境教育など、幅広い内容が含まれていて、どちらの教科書も、きちんとそういった内容が入っているのですけども、私はその中のキャリア教育というところに注目しました。東京書籍は「プロに聞く」、開隆堂出版は「キャリアインタビュー」という専門家にインタビューをする内容が掲載されています。こういう仕事もあるんだなと知るだけでも、子どもたちには非常によい学びになると思います。
その2社を比べてみると、開隆堂出版の「キャリアインタビュー」のほうが、数的には圧倒的に多くて、その分出てくる職業の数も多いです。キャリア教育という視点で考えると、開隆堂出版のほうが子どもたちの学びをより豊かにすることができるのかなというふうに感じました。
以上です。

本多教育長 ありがとうございます。
今、キャリア教育の視点というところで御指摘いただいた部分で、確かに両社とも、学んだこと、実際、それをプロに聞くという形だったりとか、キャリアインタビューだったりという形で取り扱っていて、子どもたちが学習したことをさらに深められたりとか、関わる方々にお話を聞くというのは非常に大事な視点かなというふうに思いました。
今、本田委員から御指摘いただいた開隆堂出版のキャリアインタビューですけれども、それぞれのページにもあるんですが、最後のところに、キャリアでつなぐ持続可能な未来という点、まとめていろいろ載っているところもあるんですね。そういった部分では、本田委員からの御指摘があったとおり、開隆堂出版は資料の数が多いですね。ありがとうございます。
そのほか、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。
それでは、各委員から出されました御意見を整理いたしますと、まずは見通しを持った学習ができること、それから、児童が学びやすい構成となっていること、また、キャリア教育との関連が図りやすいことなどの理由により、開隆堂出版を採択したいと思いますが、御異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

本多教育長 御異議ございませんので、家庭科については「開隆堂出版」を採択す

ることといたします。

続いて、保健について審議をいたします。委員の皆様、保健の教科書の準備をお願いします。

それでは、事務局より説明願います。

指導室長。

飯塚指導室長 保健の学習についてですけれども、体育科の指導時間の中で行われており、3・4年生の2年間で8時間程度、5・6年生の2年間で16時間程度実施することとなっております。学習内容は、「健康な生活」「体の発育・発達」「心の健康」「けがの防止」「病気の予防」となっております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、学習の進め方について、ストレスの対処法の学習について、発育・発達の学習について、児童の使いやすさについて、教員の指導のしやすさについて、以上でございます。

本多教育長 ありがとうございます。

それでは、保健について御審議いただきたいと思います。御意見のある方はよろしくをお願いします。

本田委員。

本田委員 保健については、子どもたちが、自分の体や心の健康などについて学ぶものですから、自分のこととして学べる教科書がいいなというふうに思います。各社とも、巻頭ページに学習の進め方が書いてあります。どの教科もそうなんですけれども、そこはすごく大事なところと、例えば東京書籍は、「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」と4つのステップで学習を進めていくようです。また、大修館書店やGakkenは、3つのステップで示されています。各社とも、初めのステップというのは、自分の生活を振り返って課題を考えるというような流れになっていて、自分の生活と比べることによって、しっかりと自分のこととして学習を始められるのかなと感じます。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

生活ですね、ポイントがありました。

ほか、いかがでしょうか。

安部委員。

安 部 委 員 私も、自分の生活を振り返ることというのは大切だと思います。そこで、実際の学習ページを見てみますと、3・4年生の教科書の初めに「健康な生活」という学習があるのですが、大修館書店は、「自分が健康だと思いますか。」という問いから始まっています。大日本図書は、これまでの生活を振り返って健康だと思うのはどのようなときか考えさせています。また、文教社やG a k k e nは、自分の生活を振り返って当てはまるものを選ぶようにしています。さらに、G a k k e nは、選んだ後に、自分は健康かを書かせています。これならじっくりと自分の生活を振り返ることができるかなと思いました。

以上です。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。

生活と関わりを持ちながら学ぶというのは、保健の学習で大事なところですね。学んだことを生活に生かすということと、自分の生活をしっかりと見つめ直していく、非常に大事な視点かなと思います。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

浅野委員。

浅 野 委 員 体の健康も大切ですが、思春期を迎えるこどもたちには、心の健康も大切です。今のこどもたちは、友達のこと、勉強のこと、家族のこと、いろいろなことで不安や悩みを抱え、日々を生活していると思います。悩んでいるのは自分だけではないと、心の不安を取り除いて、リラックスする方法、悩みを相談する方法など学ぶのはとても大切なことだと思います。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。

健康という部分では心の健康も大事な視点ですね。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

鈴木委員。

鈴 木 委 員 浅野委員のおっしゃるとおり、今のこどもたちというのはいろいろな悩みを持っています。多くの教科書で相談窓口の電話番号が教科書に記載されていますけれども、いざというときに思い出せるように、相談窓口の連絡先は目に触れる機会が多いほうがいいと思います。

この中でも、東京書籍は紹介している相談窓口の件数が多い、また、G a k k e nは全国的な相談窓口の紹介だけでなく、地域の相談窓口として警察や児童相談所などがあるということを紹介しています。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。今、相談、全国というお話がありましたけれども、本区も夏休み前に相談の一覧の場所をこどもたちに配付したりとか、それからあと、SNSでこどもたちに相談に乗ってくれるようなことを本区でも今やっていますけれども、こどもたちも結構そういったことを認識しているようで、この間のジュニア未来会議に出たときに、学校という視点で、いいところとか足りないところをこどもたちと話をしているときに、相談場所を知らせてくれているとか、そういったことを書いている人たちが結構いたので、そういう意識を持っているこどもが多いんだなと思いました。ありがとうございます。

ほかにいかがでしょうか。

本田委員。

本田委員 江東区では、いじめ問題については特に力を入れていることの1つだと思えるんですけども、私は特にG a k k e nの内容がいじめの内容についてはいいなと感じました。23ページに「考えてみよう。友達やクラスの仲間のこと」というテーマで記載されているんですけども、いじめに気づいたときにどうするかというのを考えさせる問いかけがあったり、もちろん先生や家の人に相談するという対応方法も示されています。

ただ、いじめ問題を解決させる鍵は、加害者や、それから被害者の周りにはいる傍観者であると言われていています。そう考えると、このページは非常に大事な学習だろうなというふうに感じます。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。いじめの問題については、江東区では、先ほど本田委員からもありましたけれども、今年度も重点にしているところです。

先ほども言ったジュニア未来会議でも、こどもたちもいじめのテーマについていろいろと意見を言っている中で、自分の学校では、いじめのことについていろいろと話し合っていますとか、こんなふうに進めていますみたいに、結構こどもたちはいろいろ意見を言ってくれるんです。多分各学校でも工夫していじめに取り組んでくれていると思うんですが、保健の学習でも、多面的にいじめのことについて取り組んでいくことが必要かなと思います。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

安部委員。

安部委員 心の健康の話題が続いていますけれども、大日本図書やG a k k e nには、自分や友達のいいところを考えさせる学習があります。この時期

に改めて自分のよさについて考えたり、友達から自分のよさを指摘してもらったりすることは、自己肯定感を高めることにつながりそうだなと思っています。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。今、心の健康という視点で言っていたところもありますけれども、先ほどのいじめもそうですし、不登校のこともそうですけれども、子どもたちの周りに様々な課題——現代的な課題と言われますけれども——がある中で、こどもの心という部分は本当に密接に関連しますので、そういった課題を解決するための鍵という意味では、今、安部委員からもあったとおり自己肯定感は非常に大事で、各学校でも自己肯定感を高める取組を工夫してやっていたところでもあります。

ほかの視点でも構いませんけれども、いかがでしょうか。

鈴木委員。

鈴木委員 私は紙面構成の視点で見ているんですけれども、G a k k e nは1つの学習内容を3段階のステップで学習するようになっているんですが、段階ごとに1ページ使っていて、とても見やすいと感じました。例えば、5・6年生の教科書にある「けがの発生」という学習で、最初にグラフから読み取れることを考えるんですけれども、見やすく大きなグラフを掲載しています。

また、G a k k e nは、自分の考えを書くスペースも十分に確保されています。知識を身につけるだけでなく、情報を基にして自分で考えさせる紙面構成となっています。全ての学習が同じような紙面構成となっているため、子どもたちにとっては学びやすいのではないかなと感じました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

浅野委員。

浅野委員 使いやすい紙面構成といえば、G a k k e nは学習の最初のページに3段階の学習の進め方が書かれています。学習の見通しを持てるので、私もG a k k e nは子どもにとって使いやすい教科書だと思います。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。先ほど鈴木委員がおっしゃったところと、今、浅野委員がおっしゃったことも併せて見ると、先ほどの鈴木委員がおつ

しゃった「けがの発生」ということで言うと、全体が1、2、3というステップがあって1ページずつで見やすいというのと、あと、浅野委員がおっしゃった、そのことが最初のところにも書いてあるということだと思っんです。そういった部分で、見通しを持って学習しやすいという紙面構成という感じかなと思います。

その他、御意見いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、これまでの皆さんの御意見を整理いたしますと、まず自分の生活と結びつけた学習がしやすいこと、それから現代的な教育課題への指導がしやすいこと、また児童にとって学びやすい紙面構成であることなどの理由により、G a k k e nを採択いたしたいと思いますが、御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本 多 教 育 長 御異議ございませんので、保健についてはG a k k e nを採択することといたします。

それでは続いて、特別の教科道徳について審議いたしますので、委員の皆様、道徳の教科書の準備をよろしく願いいたします。

それでは、事務局より説明願います。

指導室長。

飯 塚 指 導 室 長 特別の教科道徳においては、道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見詰め、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることを目指しております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、児童の使いやすさについて、教員の指導のしやすさについて、本区に関連する教材等について、いじめ・情報モラルに関する教材等について、以上でございます。

本 多 教 育 長 それでは、特別の教科道徳についての御審議をいただきたいと思っます。御意見のある方はよろしく願いいたします。

鈴木委員。

鈴 木 委 員 特別の教科道徳というのは平成30年度から教科化されたので、ちょうど今年で6年目です。ということは、今の6年生は教科化されて初めての卒業生ということになります。私は何度も学校訪問をして道徳の授業を見ていますけれども、一人一人のこどもたちが様々な課題に対して一生懸命考えたり、友達同士で議論したりしている場面をよく見ます。これからもそのようなよさを大切にして、こどもたちが主体的に学習に

取り組めるような教科書が私はいいなと思います。

以上です。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。
ほか、いかがでしょうか。
本田委員。

本 田 委 員 私も鈴木委員のおっしゃったとおりで、こどもたちがぜひ自分ごととして学習に取り組んでほしいと思っています。そのためには、こどもたちが道徳の時間に何をするのか、どのように学んでいくのかというのが分かりやすい必要があると思います。

こちらのどの会社も1年生の教科書から、巻頭で学び方について紹介するページが設けられているのは非常にいいところだと思います。その中で、光文書院は、巻頭から6ページを使って丁寧に説明しているなどという印象を受けました。それから、日本文教出版は、イラストに加えて役割演技の様子の写真も掲載されていて、それもまた分かりやすいなと思います。

以上です。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。道徳が教科化された中で、こどもたちの議論、それから今指摘があった自分ごととしてというのは非常に大事なことで、型どおりのことで、そういうのはいけませんということではなくて、やはり自分たちでそれぞれよく考えて意見を出して議論する、そういった部分では学び方という部分について、各社の工夫というところだと思うんですけども、写真を入れてより分かりやすくするという、そんな部分も工夫があるのかなと思います。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

浅野委員。

浅 野 委 員 各社ともイラストや写真をたくさん掲載されていて、工夫されているなと感じました。導入のページを見たのですが、多くの教科書でタイトルとともに、教材の内容を示すマークやこどもたちの問いかけが掲載されていて、興味・関心を高めるように工夫されているなと感じました。

特に、日本文教出版、光文書院は、読み物教材の際には教材に出てくる登場人物も紹介されているので、内容が理解しやすいよう配慮されている点がよいと感じました。

以上です。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。確かに読み物教材という部分では、今御指摘いただいた2社は、登場人物が最初のところに、こういう人たちが出て

くるよというのが明確に示されていて、分かりやすいところがあるかなと思います。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

安部委員。

安部委員 私は、各社の2次元コードを読み取ってみました。朗読の音声データやワークシート、動画など様々な資料を見ることができましたが、中でも東京書籍は、全ての教材に2次元コードが示されており、教材のスライドショーやワークシート等のデジタルコンテンツが多く用意されているように感じました。

また、日本文教出版は、附属の道徳ノートに全ての教材に関する2次元コードが掲載されています。視覚的な資料を見ながら教材の内容を確認できるのは、とても分かりやすいと思いました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。これも先ほど出てきた2次元コードですね。1人1台端末が使えるという部分では、各社非常に工夫をしている視点かなと思います。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

鈴木委員。

鈴木委員 私は、江東区にゆかりのある人物、場所、物品が掲載されている視点で教科書を見ました。教育出版は5年生の教科書に、G a k k e nは6年生の教科書に本区とゆかりのある渋沢栄一の教材があります。本区の教育にも大きく貢献された人物ですし、本区の社会科副読本にも掲載がありますので、こどもたちは関心を持って学習できるのではないかなと思います。

そのほかにも、日本文教出版の6年生の教科書に、江東区に自宅があった、永代一丁目ですけれども伊能忠敬の教材が、光村図書出版は5年生の教科書で伝統工芸品の江戸切子の教材が掲載されていて、いいなと思いました。

本多教育長 ありがとうございます。江東区にゆかりのある人物ということでは、こどもたちも身近に感じられるところもありますし、学びやすいところがあるかもしれません。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

安部委員。

安部委員 いじめについてなんです、学校における教育の現代的な課題として、いじめ問題への対処が挙げられると思います。資料3の教科書調査研究

資料を見ますと、各社とも全ての学年でいじめ防止に関する内容を取り扱っています。

東京書籍は、いじめに関する教材の前に「いじめについて考えよう」として表紙のようなページが設けられており、こどもたちへの意識づけが図られているなど感じました。

以上です。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。
ほか、いかがでしょうか。
浅野委員。

浅 野 委 員 日本文教出版も6学年で、いじめと法律として、悪口などの具体的な行動と法律とを結びつけながら考える教材が掲載されています。大人にはいじめからこどもを救い、いじめをなくす義務があるというメッセージとともに、困ったときには大人に相談するよう促しています。また、日本文教出版には、いじめに関する教材を3つのユニットとして用意し、年間で3回以上取り扱えるようにしているようです。光文書院も、目次を見ると、いじめに関するユニットが3つ用意されています。年間を通して、様々な教材で繰り返しいじめ問題について学習してほしいと考え、この2社がいいと思いました。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。今いじめの視点から、安部委員、そして浅野委員から御意見いただいたところですが、先ほど保健のところでもありましたけれども、いじめを様々な部分から考えていくということでは、道徳の中でのいじめの取扱いは非常に重要かと私も思っています。そういった部分では、今、浅野委員からも御指摘いただいたこのようなものは工夫がされているなどと思います。ありがとうございます。
ほか、いかがでしょうか。
本田委員。

本 田 委 員 日本文教出版には別冊で「道徳ノート」が用意されています。学習についての自己評価や自分の考えを記載する道徳ノートというのは、こどもたちの振り返りや先生の評価にも活用できるだろうと考えます。
中を見てみたのですが、1年生の前半は質問が記載されていて、色を塗ったり丸をつけたりするような紙面になっているんですけれども、それ以降は教材名と学習の振り返りについて、丸印などを記載する欄がありますけれども、それ以外は教員が自由に使えるような紙面構成になっています。先生方がこどもたちの実態に合わせた質問や、授業の展開がしやすいように工夫されているのではないかなと感じました。
先生方の働き方改革というものも話題にはなりますけれども、先生方

は恐らく日頃から、授業で活用するワークシートであるとか資料作りをなさっていると聞いております。そういったことから、道徳ノートというのは非常に活用できる、用意されているというのは心強い、日本文教出版がいいかなと感じます。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。今、道徳ノートの視点についてのお話がありましたが、以前はもう少しほかの社もノートをつけているところもあったのですが、今回は日本文教出版の1社のみということで、そういった部分では、本田委員がおっしゃったように、学年が上がると自由度がある道徳ノートになっているという部分があって、先生方がどこを重点的にやるかという部分で先生方の自由度も保証されいながら、確実にこどもたちの学習の記録を残していくという部分ではとても大事なことで、多分先生方は、どの教科書で学んでも何かこどもたちに書かせるものを用意しようと思うと思うんです。そういった部分では、今、本田委員からいただいた、先生方の使いやすさという部分では、ノートは価値があるかと思えます。

先生方からの御意見でも、ノートがあるといいという御意見を聞くこともありますし、また自由度が増えたのでよかったみたいな声もあったかと思っています。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、これまでの各委員の御意見を整理いたしますと、こどもたちにとって学びやすく、学習への動機づけ、振り返りが工夫されていること、また、いじめ問題についての扱いに工夫が見られること、また教員が活用しやすいことなどの理由により、日本文教出版を採択したいと思えますが、御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本多教育長 御異議ございませんので、特別の教科道徳については、日本文教出版を採択することといたします。

以上で、本日予定しておりました小学校の教科等の教科用図書についての審議は終了いたしました。これで、前回の審議と合わせて、令和6年度より江東区立小学校、義務教育学校前期課程で使用する教科書が全て決定いたしました。

ここで、採択を決定した教科用図書について、改めて確認させていただきます。

国語、光村図書出版、書写、光村図書出版、社会、東京書籍、地図、帝国書院、算数、東京書籍、理科、東京書籍、生活、教育出版、音楽、教育芸術社、図画工作、開隆堂出版、家庭、開隆堂出版、保健、G a k k e n、外国語(英語)、三省堂、特別の教科道徳、日本文教出版。ただいまの採択結果について、よろしいでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本多教育長 御異議ありませんので、令和6年度より使用する小学校等教科用図書について、ただいま確認させていただきましたように決定いたしたいと思いをします。

それでは続いて、協議事項2 令和6年度江東区立学校特別支援学級教科用図書採択についてに入っていきたいと思います。事務局より説明願います。

指導室長。

飯塚指導室長 それでは、令和6年度江東区立学校特別支援学級教科用図書採択について御説明いたします。特別支援学級の教科用図書の採択については、一人一人の障害の種類、程度、能力、特性にふさわしい教科用図書を採択するため、毎年行っております。検定教科書についての採択は既に行っていたいただきましたので、ここではそれ以外の教科用図書について御審議いただきたいと思います。

初めに、資料について御説明いたします。江東区立小中学校の特別支援学級で使用する教科用図書につきましては、資料9の江東区立学校特別支援学級で使用する教科用図書の採択についてに基づき、障害種別や程度、発達段階等を考慮して、こどもたちに最もふさわしい教科書という視点で教科書の調査を行ってまいりました。

調査部会では、各特別支援学級設置校からの調査結果に基づき、内容だけでなく文字の大きさ、表現やイラストの扱い、活用法、系統性などについて精査、検討を行いました。その結果を一覧表にまとめたものが資料10、令和6年度江東区立小学校特別支援学級教科用図書一覧及び資料11の令和6年度江東区立中学校特別支援学級教科用図書一覧です。

資料10、資料11の記載についてですが、区分のところに「検」と記載してあるのは、文部科学省の検定を経た教科用図書のことです。文部科学省の検定を経た教科用図書を使用する場合は、現在採択されている発行者の教科用図書を使用することになります。次に、「文」と記載してあるのは、文部科学省が著作の名義を有する教科用図書のことです。そして、「般」と記載してあるのは、学校教育法附則9条に規定する一般図書のことです。特別支援学級で使用する教科用図書は、以上の中から採択することとなっております。

最後に、一般図書の採択基準について説明いたします。資料9の江東区立学校特別支援学級で使用する教科用図書の採択についてを御覧ください。一般図書の採択基準についてですけれども、教科の主たる教材として、教育目標の達成上適切な図書であること、現在も入手が可能な図書であること、児童・生徒の障害種別、程度、能力、特性に最もふさわしい文字、表現、挿絵、題材等の図書であること、可能な限り系統的に編修されており、教科の目標に添う内容を持つ図書であることなどが挙

げられます。

なお、一般図書は、資料12の東京都教育委員会が調査研究を行い作成した、「令和5～7年度使用 特別支援教育教科書調査研究資料」に掲載されている図書の中から選定しております。教科書として採択する一般図書は、各教科の主たる教材として有効かつ適切でなければなりません。資料10、資料11としてまとめました教科用図書一覧は、十分に調査研究されたものの中から選定されているものであることを付け加えさせていただきます。

説明は以上でございます。

本多教育長 ありがとうございます。
 ただいまの説明について、何か御意見ございますでしょうか。
 鈴木委員。

鈴木委員 有効かつ適切な資料だと思いますので、異議ございません。
 以上です。

本多教育長 ありがとうございます。
 特別支援学級の教科用図書につきましては、教科用図書採択、毎年行っていると先ほど指導室長からもありましたが、各委員におかれましては、文部科学省の著作本でありますとか、また各校から候補に挙げられている一般図書につきましても既に御覧いただいております、十分に御理解いただいているかと思っております。

今、鈴木委員から御意見いただきましたけれども、各校の児童・生徒一人一人の状況に応じた教科用図書が各学校から一覧として出てきたもの、そして部会のほうで検討されてまとめられたものになっておりますので、特に御意見なければ、令和6年度江東区立学校特別支援学級で使用する教科用図書につきましては、資料10、令和6年度江東区立小学校特別支援学級教科用図書一覧、また資料11、令和6年度江東区立中学校特別支援学級教科用図書一覧の2つのおり採択したいと存じますけれども、御異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

本多教育長 御異議ございませんので、令和6年度江東区立小学校特別支援学級教科用図書一覧、令和6年度江東区立中学校特別支援学級教科用図書一覧のおり採択したいと存じます。

以上をもちまして、令和6年度江東区立学校特別支援学級教科用図書採択についての審議を終わります。

以上で教科書採択に係る傍聴案件の審議が終了いたしましたので、本案件のみの傍聴を希望された傍聴人の方は、事務局の職員が御案内いたしますので御退室願います。

なお、これ以外の案件についても傍聴を希望される方については、引き続き傍聴いただいても構いません。よろしく願いいたします。

(傍聴人退室)

本多教育長 それでは、これより報告事項に入ります。報告事項1 令和6年度区立幼稚園の園児募集についてを事務局より説明願います。
学務課長。

賀来学務課長 それでは、資料13を御覧願います。令和6年度区立幼稚園の園児募集について御説明いたします。

まず、1の園児募集人数一覧のうち、上段の4歳児につきましては募集定員を14園で440名にいたしました。1学級当たりの定員は35名としています。2番の南陽幼稚園、5番の豊洲幼稚園については、3歳児保育を実施していることから、進級に伴い定員が増加する10名分のみの募集となります。

なでしこ幼稚園は、現3歳児が定員の35名となっており、4歳児の定員も同数の35名であるため、4歳児の募集は行わないため、この欄には記載はございません。

飛びまして、一番下のその他のところでございますが、第一亀戸幼稚園につきましては、令和6年度末での廃園を予定しておりまして、園児募集を行わないため、この表に記載はございません。また、園児募集の結果、応募人数が5人に満たない場合には、昨年度の川南幼稚園のように翌年度の学級編制は行わないことといたします。

上段の4歳児の表に戻りまして、13番の東砂幼稚園につきましては、令和7年度末での廃園が予定されているため、今回が最後の園児募集となっております。

続きまして、下段の3歳児につきましては、募集定員を3園で155名としておりまして、南陽、豊洲幼稚園につきましては、1学級当たりの定員は20名、なでしこ幼稚園は保育室の関係から、2学級合わせて35名の募集となっております。

項番2の申込資格は記載のとおりでございます。

項番3の園児募集日程につきましては、おおむね昨年度と同様でございます。10月1日に区報への掲載を行った後、10月13日から区役所及び各幼稚園で募集案内を配付いたします。申込みの受付につきましては、今年度から募集案内にQRコードを掲載しまして、電子申請の受付をいたします。また、申込書面の受付も併せて行うこととしております。申込みが各園の募集定員を上回った場合につきましては、11月8日に抽せんを行う旨を発表しまして、10日に公開抽せんを行います。昨年度につきましては、豊洲幼稚園の3歳児が抽せんとなっております。

園児募集についての説明は以上になります。

本多教育長 本件について質疑願います。
鈴木委員。

鈴木委員 なでしこ幼稚園で3歳児保育が始まりましたが、今施設の関係上35名ということですのでけれども、募集状況を見て、もっと大勢もし来たとしたら、来年度から、再来年度か分かりませんが、少し施設を考えて、もう少し受入れ枠を大きくするというふうな予算を考えるということはあるでしょうか。

本多教育長 なでしこ幼稚園の状況について、今後のことも。
学務課長。

賀来学務課長 なでしこ幼稚園につきましては、今回が2回目の募集となります。前年、募集を行いました。抽せんという結果までは至らなかったところでございます。ただ、定員35名に対して、実員は8月末には恐らく34名ぐらいになるだろうということもあるので、そういった状況も今後勘案していく必要があるかと思えます。
以上でございます。

本多教育長 よろしいでしょうか。
ほか、いかがでしょうか。
安部委員。

安部委員 豊洲幼稚園なんですけれども、昨年ここだけが抽せんになったということなんです。それだけ需要があるということであれば、予算は置いておいて、キャパ的には増やす余地というのは現状であったりするのでしょうか。

本多教育長 学務課長。

賀来学務課長 豊洲幼稚園についてなんですけれども、抽せんにはなったんですが、80人の申込みがありました。定員は60名で、蓋を開けると、実際、辞退される方がいらっちゃって、定員の60名には及ばなかった形になります。結果として、今50人程度の園児がいて、希望されている方は全員入園できたという形になっていますので、そのあたりも推移を見ていく必要があるかなと考えております。
以上でございます。

本多教育長 安部委員。

安 部 委 員 物理的なキャパという意味では、もっと実際にはあるということですか。

本 多 教 育 長 学務課長。

賀 来 学 務 課 長 キャパとしては、あくまで定員の60名がキャパというところがございます。

本 多 教 育 長 豊洲幼稚園は、キャパ、保育室の数という意味では、今、学務課長から説明があったとおり、また、抽せんにはなったんですけど、その後、保育園に入れたとか様々な状況の中で御辞退される方がいらっしゃって、現状そういうことになったというところがございます。

鈴 木 委 員 辞退された理由は何かなと思ってお聞きします。

賀 来 学 務 課 長 様々あると思うんですが、基本的には保育園との併願のような形で、希望する保育園に入れたというところもあって辞退されたという印象を持っているところがございます。

本 多 教 育 長 よろしいでしょうか。
ほか、いかがでしょうか。
安部委員。

安 部 委 員 辞退という意味では、ほかは抽せんじゃないとしても、申し込まれた。でも、結果として、今お話しのように、辞退されている方が実はたくさんいらっしゃるという理解でよろしいですか。たくさんというのはあれですけど。

本 多 教 育 長 学務課長。

賀 来 学 務 課 長 辞退ということが起こっているのは、恐らく豊洲で顕著な例なのかなと思います。基本的には南陽もなでしこについても抽せんにはなっておりません。なでしこについては定員の数、後から伸びてきて達しているような状況ですので、今のところ豊洲で特に見られる傾向なのかなと思います。
以上でございます。

本 多 教 育 長 安部委員。

安 部 委 員 ほかでも、1名、2名の辞退はあるという理解でいいですか。

本 多 教 育 長 学務課長。

賀 来 学 務 課 長 そういったこともございます。ただ、こちらも辞退者数というカウントを持ち合わせていないところなので、御指摘の部分も踏まえて、どういった数字が出るかというのは今年度からカウントさせていただければと思います。

以上でございます。

本 多 教 育 長 安部委員。

安 部 委 員 何回もしつこいようであれなんですけど、豊洲で合格して抽せんにかかって辞退でへこんだ部分を、落選した方に補欠的な扱いで御連絡をされて、空きあるんですけどみたいな、そういうことはされているんでしょうか。

本 多 教 育 長 学務課長。

賀 来 学 務 課 長 落選した方というのは、基本的には、結果いないような状況になっています。希望された方は全員入れる形になっていますので、結局繰上げというものがございますので、そこに希望された方は入るというシステムにはなってございます。

以上でございます。

本 多 教 育 長 要するに、全ての方にちゃんと御案内しているということですね。

ほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

御承知のように、幼稚園の園児数については減少しているところがあって、区全体を見ても乳幼児人口がある程度頭打ちになったりとか、幼稚園、保育園も定員が足りないというのはなくなってきていて、そんな状況の中で、区立幼稚園も様々な工夫をしております、かんがる一ひらば、未就園児を集めて保育をしたりとか、またオンラインで説明会をしたりとか、工夫をしているところでありますので、何とかたくさんの方々に入園していただければなと思っているところであります。

江東区といたしましては、区立幼稚園の役割、また区立幼稚園の保育の質の高さということをしっかり認識した上で前に進めていきたいなと思っております。それでは、よろしいでしょうか。

では、本報告を終了いたします。

それでは、以上をもちまして、令和5年第8回江東区教育委員会定例会を閉会いたします。ありがとうございました。